

CODE : 7771

NI NISSEY GROUP

2015年3月期 決算説明資料

2015年6月



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

会社概要 (2015年3月31日現在)

- ◆ 社 名 : 日本精密株式会社 (Nihon Seimitsu Co., Ltd.)
- ◆ 住 所 : 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル8
- ◆ 設 立 : 1978年8月
- ◆ 上 場 : 東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
- ◆ 代表取締役 : 岡林 博
- ◆ 事業内容 : 時計バンドの製造、販売, メガネフレームの製造、販売, イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
- ◆ 連結子会社 : 3社、関係会社1社
- ◆ 従 業 員 : 3,691人(連結)
- ◆ 決 算 : 3月
- ◆ 資 本 金 : 1,715百万円
- ◆ 発行株式数 : 17,661,999株
- ◆ 株 主 数 : 1,783名





1. 2015年3月期 業績概要

2. 2016年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

2015年3月期 連結損益計算書

単位:百万円	2014/3期 実績	2015/3期 実績		
		実績	増減額	増減率
売上高	7,054	7,877	+823	+11.7%
売上総利益	1,728	1,854	+126	+7.3%
売上総利益率	24.5%	23.5%	△1.0p	—
販管費	1,593	1,759	+165	+10.4%
販管費比率	22.6%	22.3%	△0.3p	—
営業利益	134	95	△39	△29.0%
営業利益率	1.9%	1.2%	△0.7p	—
経常利益	123	221	+97	+78.4%
経常利益率	1.8%	2.8%	+1.0p	—
当期純利益	114	187	+73	+64.3%
当期純利益率	1.6%	2.4%	+0.8p	—

報告セグメントの状況(連結)

報告セグメント別売上高

	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
時計関連	2,492	2,983	3,664	3,350	5,437
メガネフレーム	1,830	1,977	1,953	2,188	2,062
その他	366	360	282	343	376
連結売上高	5,180	6,002	5,585	7,054	7,877

報告セグメント別利益

	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
時計関連	87	266	109	250	188
メガネフレーム	73	21	2	△152	△131
その他	3	10	△28	21	37
報告セグメント外	42	35	21	14	0
営業利益	207	334	103	134	95



2015年3月期 連結業績の概要①

【売上高】 受注好調に加え、円安効果もあり前期比で大幅増収

◎時計関連

- ・高級品向け時計バンドの受注増加により、ベトナム工場の生産が大幅な増加となったことに加え、カンボジア新工場への生産移管が加速され新たなサプライチェーンを構築が進んだことにより、時計部品全体の生産が大幅に増加。
- ・上記の増産による売上増に加えて、円安による海外売上高の増加要因もあり、前期比で大幅増収を達成。

◎メガネフレーム

- ・村井(ブランド・フレーム部門)は、消費税増税による買い控えの影響はあったものの、海外向け売上の増加や、新ブランドの投入などにより、前期比で増加。
- ・本体(OEM製品部門)は、消費税増税の影響による大手チェーン店からの受注減少により前期比で減少。

【営業利益】 カンボジア新工場の立上げ費用等により、前期比で減益

◎時計関連

- ・ベトナム工場については、円安ドン高の影響などによる人件費の増加があったものの、増収効果により前期比で増益。
- ・カンボジア新工場の本格稼働が始まり人件費・経費が増加。加えて、生産移管の計画前倒しによる人員増の要因もあり、ベトナム工場の増益はあったもののセグメント利益は低下。

◎メガネフレーム

- ・村井(ブランド・フレーム部門)については、円安による仕入コストやロイヤルティ等の営業費用の増加があったものの、上記の増収効果により黒字に転換。
- ・本体(OEM製品部門)は、上記の減収要因に加え、円安ドン高によるベトナム工場の人件費増などにより減益。



2015年3月期 連結業績の概要②

【 経常利益 】 為替差益の発生等により前期比で大幅増益

- ・在外子会社の円建て債務及びドル建て債権等の 為替評価益の計上により、為替差益170百万円を計上したことなどにより、経常利益は前期比で大幅増。

【 当期純利益 】 大きな特益・特損もなく、前期比で大幅増益

- ・大きな特別利益・特別損失の発生が無く、経常利益の大幅増を受けて、当期純利益もお前期比で大幅に増加。

B/S、CFの状況(連結)

単位:百万円	2014/3末	2015/3末
流動資産	2,618	3,241
現預金	781	741
受取手形・売掛金	861	980
たな卸資産	896	1,335
その他	78	183
固定資産	1,840	2,194
有形固定資産	1,234	1,546
無形固定資産	472	489
投資その他の資産	134	159
繰延資産	24	56
総資産	4,484	5,493
流動負債	1,435	1,976
支払手形・買掛金	568	693
短期・1年内長期借入金	700	972
その他	167	310
固定負債	1,307	1,265
長期借入金	1,203	1,140
その他	104	125
純資産	1,740	2,251
株主資本	1,737	2,224
その他の包括利益累計額	3	26
負債純資産合計	4,484	5,493

単位:百万円	2014/3期	2015/3期
営業キャッシュ・フロー	40	△134
税前当期純利益	124	220
減価償却費	127	166
売上債権の増減額	△35	△115
たな卸資産の増減額	△69	△445
仕入債務の増減額	△29	124
その他	△29	△15
小計	93	△63
利息及び配当金の受取・支払額	△34	△43
法人税等の支払額	△17	△26
投資キャッシュ・フロー	△961	△481
フリー・キャッシュ・フロー	△821	△616
財務キャッシュ・フロー	779	477

資産の主な増加要因

- ・流動資産: たな卸資産 +438百万円
 時計関連の好調に伴う仕掛品・原材料の増加
- ・有形固定資産: 建物構築物 +288百万円
 機械装置 +268百万円
 カンボジア工場の竣工及び機械設備の導入
 ベトナム工場の自動化・半自動化設備の導入
 建設仮勘定 △256百万円
 カンボジア工場の竣工により建物構築物へ



1. 2015年3月期 業績概要

2. 2016年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

2016年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2015/3期 実績	2016/3期 予想		
		予想	増減額	増減率
時計関連	5,437	5,996	+559	+10.3%
メガネフレーム	2,062	2,387	+325	+15.8%
その他	376	415	+39	+10.4%
売上高	7,877	8,800	+1,122	+11.7%
時計関連	188	364	+176	+93.6%
メガネフレーム	△131	△90	+41	—
その他	37	27	△10	△27.0%
報告セグメント外	0	—	—	—
営業利益	95	301	+215	+215.4%
経常利益	221	253	+33	+14.8%
当期純利益	187	223	+35	+19.1%



2016年3月期 連結業績予想の概要

【売上高】 時計関連が牽引し、前期比で2ケタ増収を見込む。

◎時計関連

- ・顧客の販売好調に伴い、新規及びリピートオーダーの受注が引き続き当期も続くことを見込む。
また、生産設備の増強により、ベトナム工場では高級品向け製品を増産し、カンボジア工場への中～低価格品向け製品の生産移管を本格化する。

◎メガネフレーム

- ・(株)村井のブランド・フレーム部門は、新ブランドの増販や海外向け売上の増加などにより、前期比で増加を見込む。
- ・本体のOEM製品部門は、国内メーカー向け、大手チェーン店向けともに、提案営業による増加を見込む。

【営業利益】 増収効果により、カンボジア工場の立上げ費用等を吸収し、増益を見込む。

◎時計関連

- ・増収となる一方、ベトナム工場の増設や高級品向け製品の製造に向けた設備拡張、金型生産能力増強による消却額の増加や、カンボジア工場の稼働による人件費、償却額の増加により、セグメント利益は前期比減を見込む。

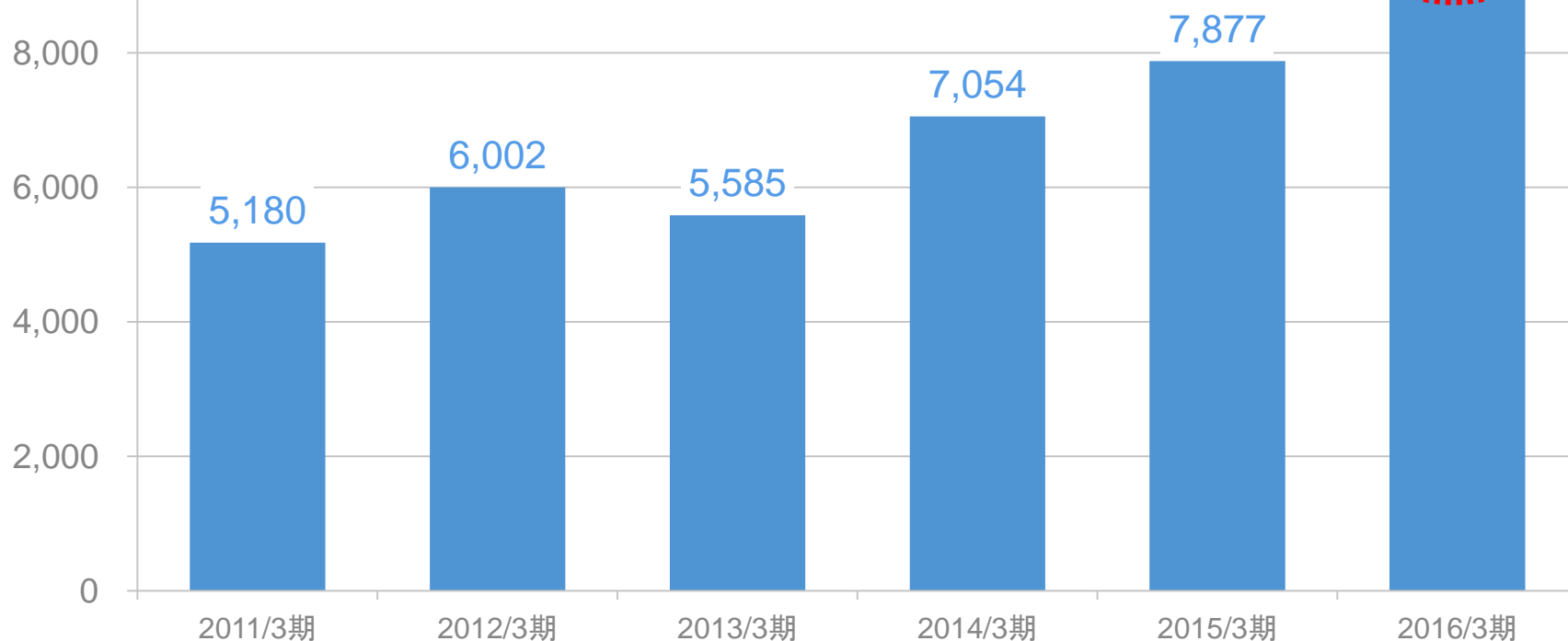
◎メガネフレーム

- ・本体のOEM製品部門は、円安によるベトナム工場の人件費増により、当期も大幅な利益回復はないものの、(株)村井での付加価値商品の投入による粗利の取れる商品に注力することで、赤字額の縮小を見込む。

業績推移

(百万円)

連結売上高の推移 過去最高を更新の見込み



	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
売上高	5,180	6,002	5,585	7,054	7,877	8,800
営業利益	207	334	103	134	189	301
経常利益	156	295	105	123	161	253
当期純利益	172	296	90	114	120	223

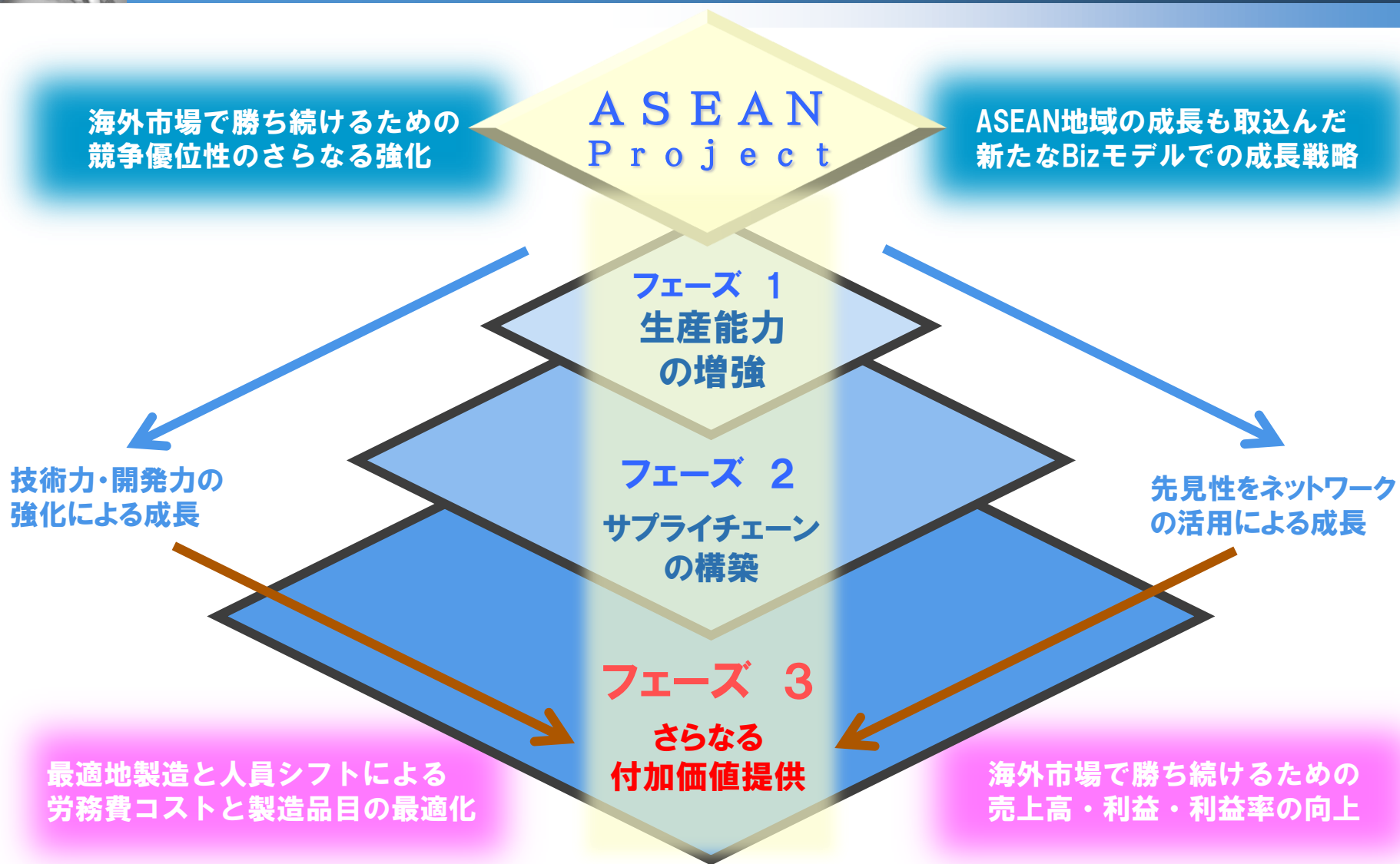


1. 2015年3月期 業績概要

2. 2016年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

ASEANプロジェクトの概要



市場の変化が急速に進行

従来からのご説明

中国内の部品製造は、人件費高・元高などの要因で原価が上昇。価格上昇→競争力低下→廃業→供給力低下→価格上昇・・・という負の連鎖が起こっている。

また、中国では高齢化等による熟練工の不足が深刻化。時計関連・眼鏡関連の部品工場が、相次いで倒産・廃業する状態も、それに拍車をかけている。

日系メーカーだけでなく欧米メーカーについても今後の供給リスク・価格アップリスクを予想して新たな部品調達先を検討・模索している。

現在の状況

当社の想定していたよりも急速に市場が変化

日系メーカー等は、調達先の検討・模索を行う段階から既に**実行段階**へ

◎ 時計関連

普及価格帯向け製品

- ✓ 部品調達先を、他社工場(中国)から当社グループに変更(増産依頼)

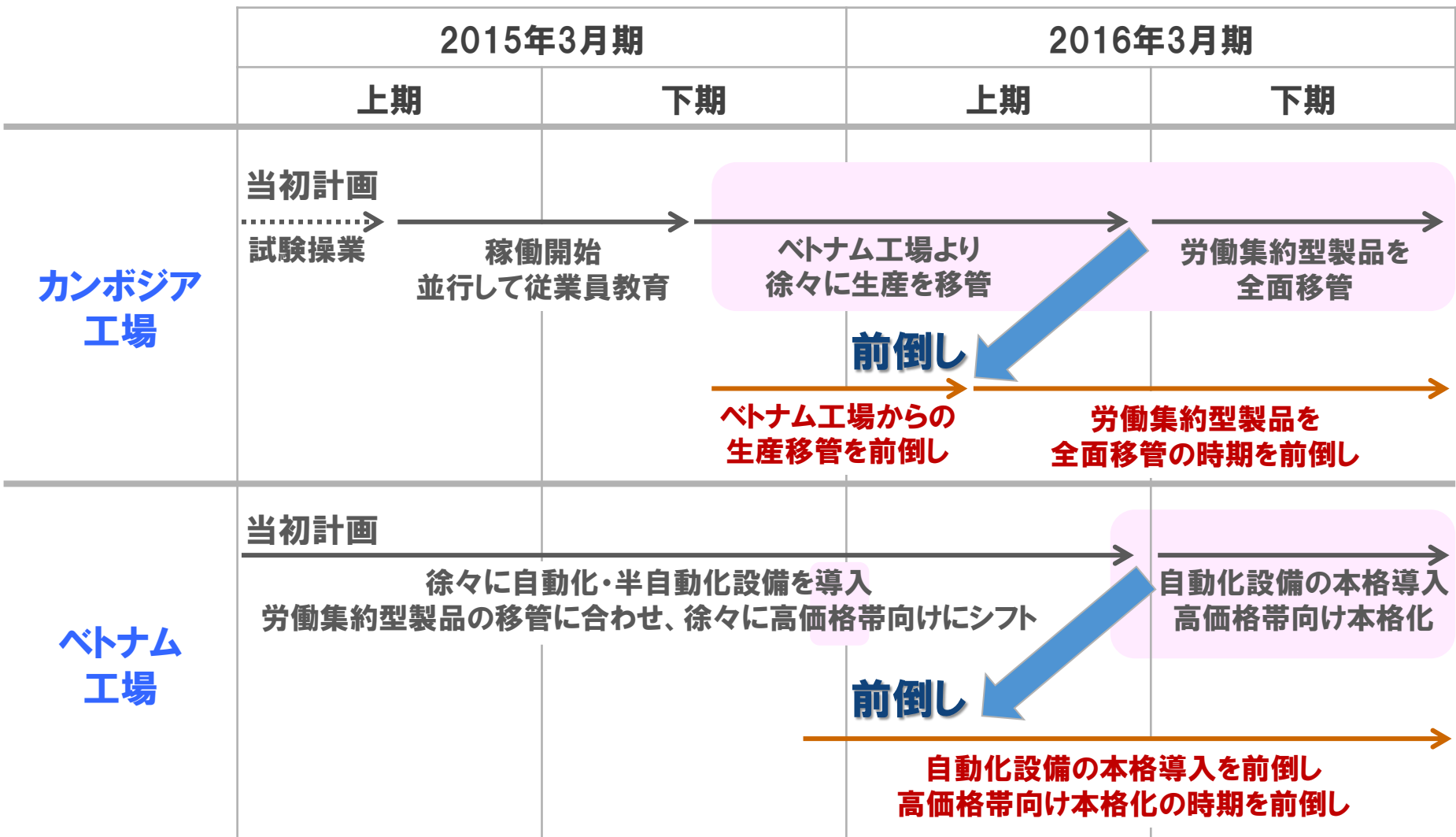
高価格帯向け製品

- ✓ 従来、中国で調達していた部品について、当社ベトナム工場での製造を打診(製造移管依頼)
- ✓ 今後の新製品の部品調達先として、当社ベトナム工場を選定(製造依頼)
- ✓ さらに高付加価値の表面処理技術の開発依頼(技術開発依頼)

◎ その他

- ✓ 金属加工部品を必要とする多様な製品メーカーから、部品製造の打診・試作品の依頼

前期11月に資金調達を行い、設備投資の前倒しを実施



カンボジア工場：本格稼働に向けた設備投資

NISSEY

NISSEY Cambodia Co., Ltd

2014年7月～本格稼働



労働集約型製品の製造はカンボジアに移管

カンボジア工場の生産能力の強化に向けた設備投資

ベトナム工場から、労働集約型製品の全面移管を前倒しするため、以下の投資を実施

✓ 真空焼入炉 ✓ プレス機

など



当初は、当期の下期に予定していた全面移管の時期を、上期に前倒し

当初から予定していた『絞りベゼル』に加え、『鍛造ベゼル』の製造も移管

全面移管を早めることにより、ベトナム工場の高付加価値製品へのシフトを早期化

ベトナム工場：基幹工場への設備投資

ベトナム工場の生産能力の強化に向けた設備投資

● 半自動化・オートメーション化

顧客ニーズに応えた高級腕時計バンドなど増産に向けて、以下の投資を実施

- ✓ ロボドリル小型マシニング
- ✓ CNC旋盤
- ✓ 放電加工機
- ✓ ワイヤークットなど

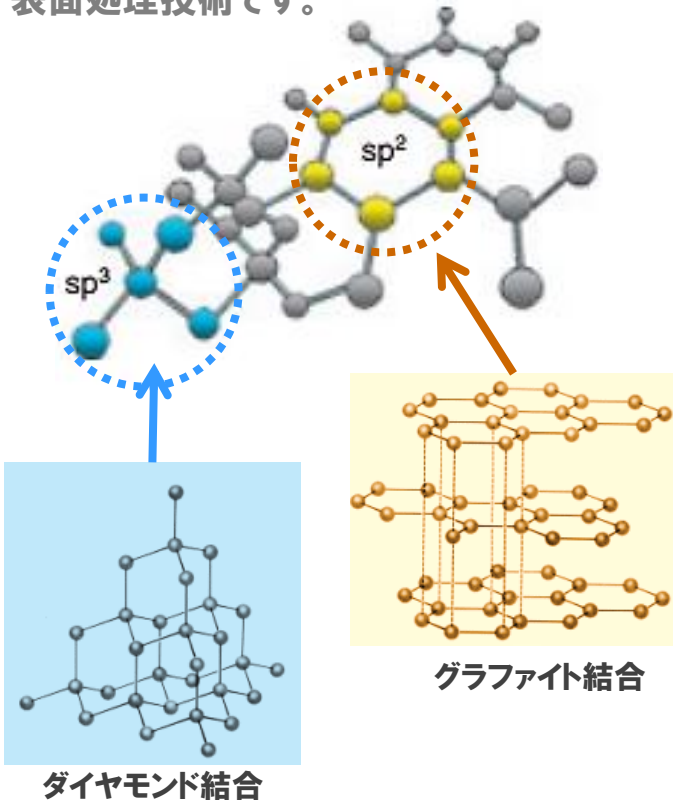
前期期初より開始し、11月の資金調達により大きく進んだ半自動化・オートメーション化に向けた設備投資ことにより、高級腕時計バンドの生産能力は、20000本/月にまで拡大しています。



当期は、ベトナム工場に最新の表面処理技術DLC設備を導入

DLC(ダイヤモンドライクカーボン)とは？

ダイヤモンドと、グラファイト(黒鉛)の両方の結合をもつアモルファス構造の薄膜であるDLCをコーティングする最新の表面処理技術です。



高級製品の高付加価値化をさらに進めるため、大手国内時計メーカーから、表面処理にDLCを用いたいとの要望

色調の均一化が困難であるなど、従来は外装品に用いることは、技術的ハードルが高いとされる

大手国内時計メーカー
(当社の大型ユーザー)
による
本設備への投資が決定

長年の研究開発と今まで培った表面処理技術・ノウハウを用いて技術的課題を克服

時計関連製品で、DLC表面処理を行いつつ、均一な色調・品質を維持することに成功

基幹工場であるベトナム工場に2015年7月に導入

DLCコーティングの特徴



DLCコーティングの主な特徴

高硬度

ダイヤモンドと同じ立方晶構造を含み、ナノレベルの薄膜でも、非常に優れた高硬度を有する

低摩擦係数

金属表面にナノレベルの薄膜を成型するため、表面が非常に平坦で低摩擦性を有する。

耐摩耗性

高硬度と低摩擦性によって、良好な耐摩耗性を有する。

生体親和性

炭素系材料と水素から構成されるため、皮膚に触れてもアレルギー反応が出にくい。

耐腐蝕性

化学的に安定しているため、高い耐腐蝕性を有する。

etc.

表面処理技術DLC導入による高付加価値製品の製造



商品訴求力

新規改良設備の導入により、耐磨耗性の向上による商品の訴求力が得られます。

高付加価値

高級無垢バンド等の更なる高付加価値化と一貫生産による大幅な工期短縮になります。

オリジナル設計

当社オリジナルの設計で設備を製造しており、今後の新色等の要請にも対応可能です。



当社ベトナム工場に設置したDLC表面処理設備

基幹工場であるベトナム工場に最新の表面処理技術DLC設備を導入し、高付加価値製品の製造とそれによる収益性の向上を図る

大手国内時計メーカーと、新たに取り引きを開始

国内時計メーカーの状況

高級品の販売が好調

- ・訪日客の増加によるインバウンド需要
 - ・スイスフランの高騰によるスイス時計高級メーカーの相次ぐ値上げ
- により、大手時計メーカーの高級腕時計は各社とも好調な販売が続く



発注先がない状況

部品メーカーの状況

増産への対応が困難

中国国内の時計関連部品メーカーはさらに撤退・廃業が加速しているため、新たな増産依頼へ対応することや、新規調達先を見つけることは困難。



高級品向け製品の製造が可能な技術力と、一貫生産体制が評価され新規取引が開始

新規取引の概要

- (1) 時計関連部品の概要
高価格帯製品向け腕時計チタン無垢バンド等
- (2) 納品開始時期
2015年5月末より
- (3) 採用されるモデル
当該大手国内時計メーカーのGPS機能付き腕時計のチタン無垢バンド全て

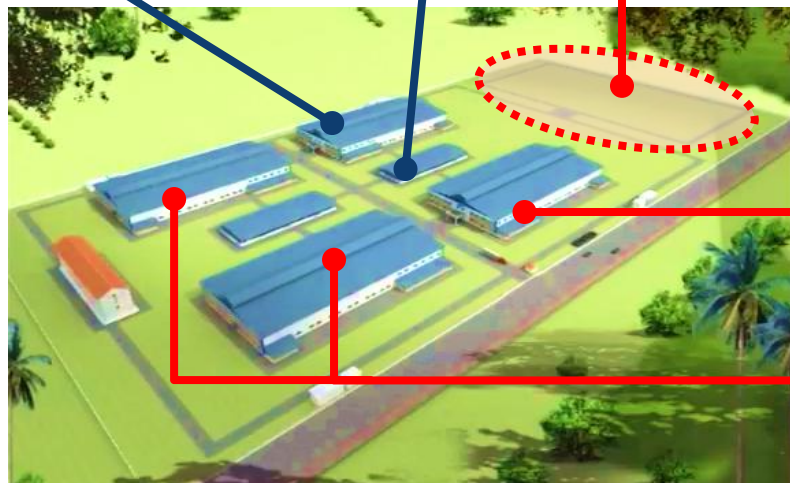
サプライチェーン構想の実現に向けた準備も着々と進行中

サプライチェーンの構築構想

カンボジア新工場の129,600㎡に及ぶ広大な当社敷地内に、製造メーカーの苦境が続く中国内の当社協力工場を誘致し、一大サプライチェーンを構築する。

- ①時計製造に必要なあらゆる部品メーカーを敷地内に誘致
- ②当社工場を中心とした時計関連部品の一大サプライチェーンを構築
- ③カンボジア工場が、顧客の需要を取りまとめ一括受注
- ④検品業務等も含め顧客に一括して販売

当社カンボジア工場 共用食堂棟



追加誘致を検討

中国市場の変化が急速に進んでいるため、誘致工場を当初予定より増加させることを検討

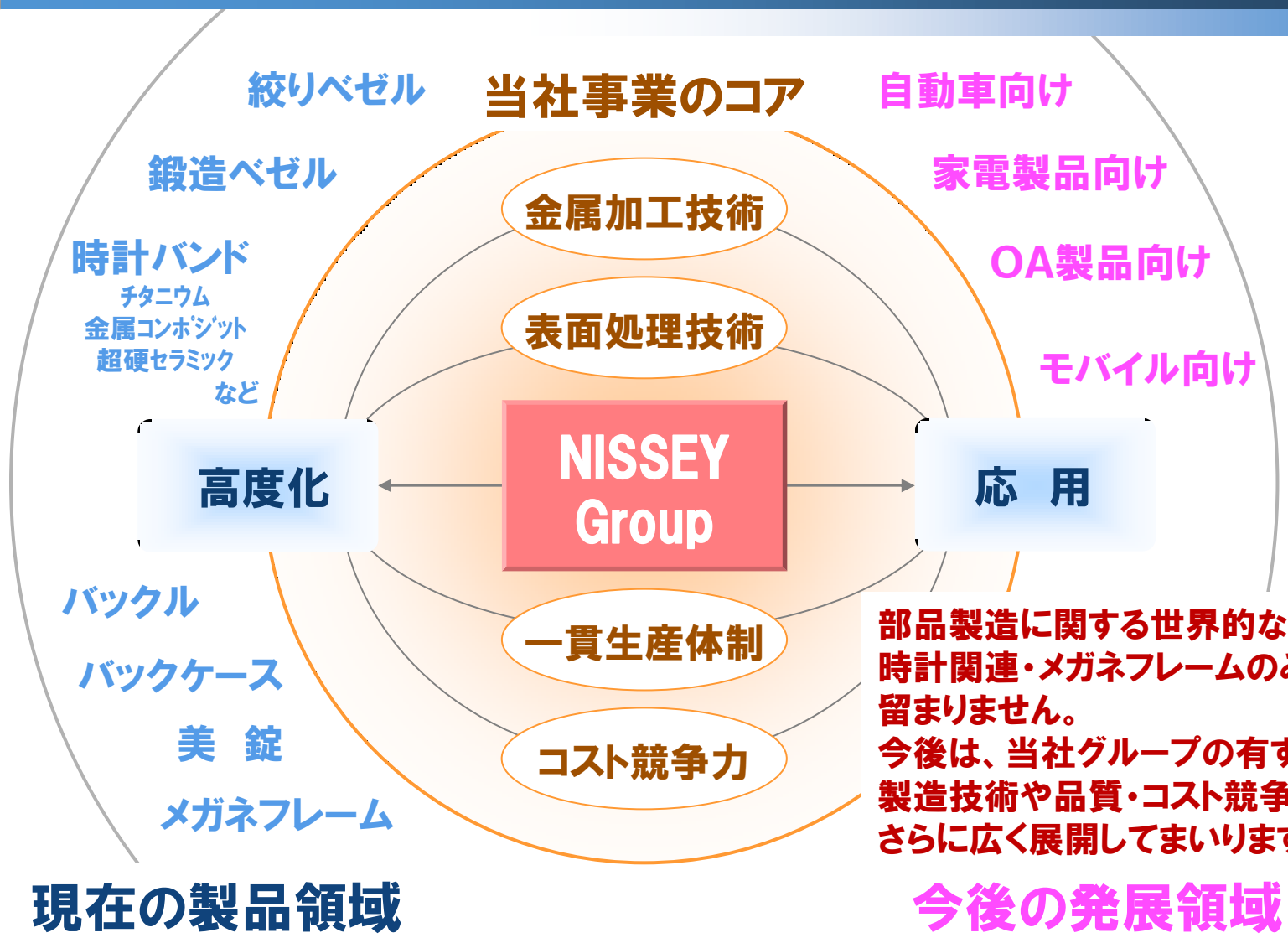
誘致工場(工場建設済み)

2015年7月からの操業開始に向けて準備中

誘致工場(内定済み)

1社は、来年初めに工場建設を開始予定

さらに、その先の成長へ向けての準備



ASEANプロジェクトの推進による成長戦略を推進

ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



本社(埼玉県川口市)

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など、全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井:連結子会社

エヌエスジー(株):連結子会社

香港支店

ベトナムでの製造不可能な部品を低コストで中国より調達。また営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造
- ◎メガネフレームの製造
- ◎釣り具部品等の製造 他

高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造

普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、
一大サプライチェーンを構築

中期経営目標

連結

単位:百万円	2015/3	2016/3 今期見込
売上高	7,877	8,800
■ 時計関連	5,437	5,996
■ メガネフレーム	2,062	2,387
■ その他	376	415
営業利益	95	301
経常利益	221	253
当期純利益	187	223

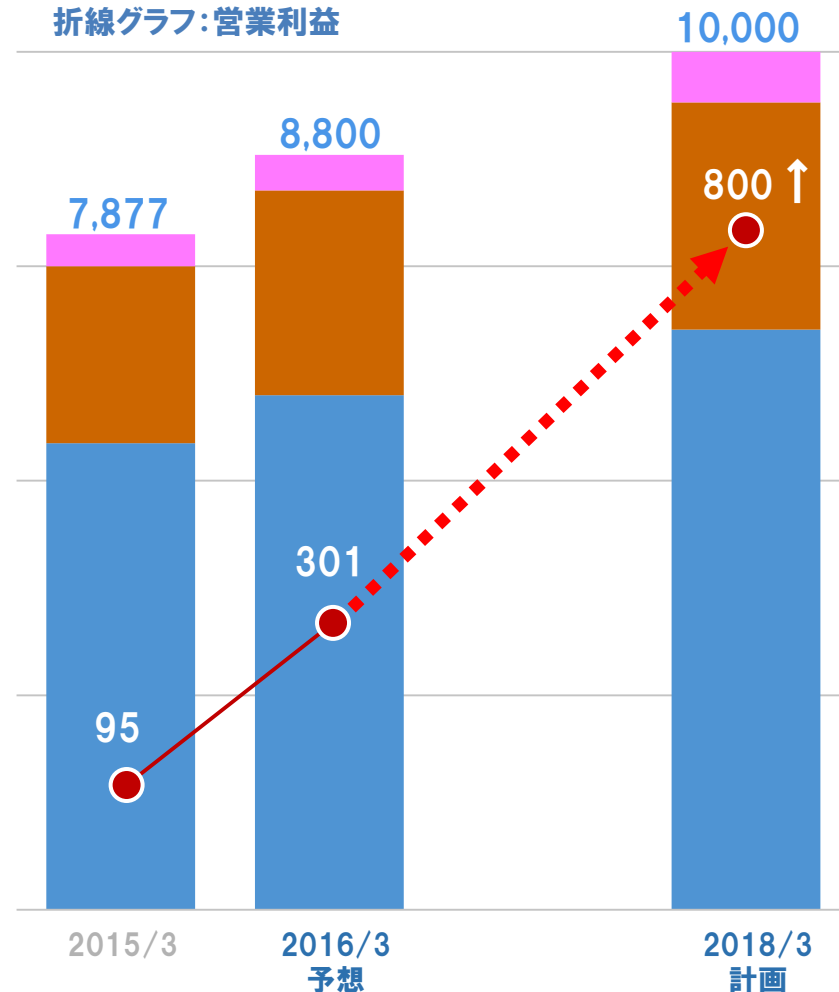
EPS	11.71円	12.80円
営業利益率(%)	1.2%	3.4%



2018/3 計画	10,000
	6,760
	2,650
	590
	800 + α
	700 + α
	600 + α

	34円 以上
	8%以上

棒グラフ : 売上高
折線グラフ: 営業利益



CODE : 7771

NI NISSEY GROUP

日本精密株式会社



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

本資料は、2015年3月期の業績概要および2016年3月期業績予想、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2015年3月31日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。